雷気・ 雷子















繊維

















重力で液体を移動するサイフォンの機能を永続させる 仕組み

特許権者: 寉岡 正夫

単純なサイフォン(逆さ∪形の管を液体で満たし、 両端を異なる器の液体中に浸けたもの)では、どちら かの液面が管の先端より一度でも下がると、管の中の 液体が落ちてしまう。このため再び液面が上昇しても 管の中には既に空気が入っており、液体が逆さ∪形の 曲がっている上部を越えて高い液面から低い液面へ液 体を移動させること、すなわちサイフォンとして働く ことができなくなる。

本発明では、逆さ∪形管の下向きの両端を再び同じ 高さで上向きにし、管全体としてはW形に曲げ、液面 が上向きになった管の先端より一時的に低くなっても 両端の上向きになった管の中で液面が同じ高さに保た れ逆さ∪形に曲がっている中央上部の液体が落ちるこ とはなく、液面が上昇して管の先端が液中に再び浸か るようになると管が再度サイフォンとして働き、管の 両端が浸かっている液面を同じ高さになるように液体 を移動できる様にしている。しかし、そのW形管を排 液機能に利用するとき、落差は液面が管端を越えたの みで、流速が遅く極めて管を太くしなければならない 欠点がある。

本発明では液面の高さに応じて可変する弁を伴う気 孔管を、W形管の外端の排液管の接続部へ付け、W形 管の先の維持機能を犯すことなく、下降する排液管の 吸引落差を加えた高速排液を可能とし、欠点を解消し ている。故に動力エネルギーを使うことなくメンテナ ンスフリーの排液ポンプ機能を実現している。

patent review

解 用 語 説

サイフォン

真空圧により一時的に液体を高い位置へ上げ、再び低い 位置へ移動させる仕組み

作物を育成させるために、水を張った畑

発電や流水量のコントロールを目的として作られた貯水 池

空気を取り込む目的の穴へ継いだ管

落差

液体の高低の差で生ずる流れる力の元となる圧力

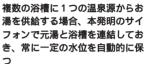
ユーザー業界







温泉供給方法



活用アイデア



既存ダムや槽の利用拡大

本発明のサイフォンで既存の堤防 を切り崩したりトンネルや穴を掘 ることなく生簀や発電など新たな 用途先へ水を移動する

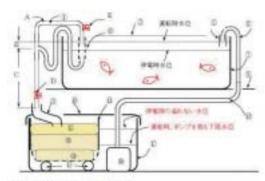
market potential

本発明は、液体を入れた複数の槽の液面高さを、 動力を使うことなく自動的に一定に保つものであ る。サイフォンの原理を用いることから外部から の動力源が不要で、且つ液槽の底や側面に液体を 出入りさせるための穴などを開ける必要がないと いう特徴を有する。

従って、給水元が1つで、複数の水槽に各種鑑 賞魚などを飼育する場合や、複数の浴槽に1つの 温泉源からお湯を供給する場合に適用すれば、常 に一定の水位を保つことが自動的に無駄なく行わ れ、省エネを実現できる。更に、複数の大きな貯 水池や水田などへの給水が、離れた場所との間で もトンネル形の水路を作ることなく、地上へ自由 な配置でパイプを敷設するだけで可能となるので 省コストを実現でき、応用範囲は非常に広いもの と考えられる。

ライセンス情報番号:L2008004401

サイフォンユニットの構成



- ロボボロツィルター核子(級bラー)
- のガラス高(健覚後期ブラスチックなどで、機会の高発助主)
- の利用性(四分素)、3波素型光度を使(か)対方をみ包にすると気が続える)。
- の(家())すく)時は智(助水管の社会)(口の存在を水面下に)。て過ぎる)
- 自総水管(できる行け太に、曲げない位と指さ効中が終い)
- の主機・銀ど水流管+16で通常の繋ぎの可能な管盤の特理は550(以下、実更可)
- の場合に専貫のフレームやキャビネットも考えが事業の経覚及び特注が見らず)
- **の様の管(浄化巻への構用、塩に排水肉) 仕水道管)**
- の浄化機能(言葉が使い時の当内面の電が多へ切わり合きない相談のこと)
- ① 沙化剤は塩酸プラステックで悪に外の有る様
- 自身化剤(近く除去者で、スポンジやグラカケールのウィルター)
- **日本亡間公前内と選成に卸り、月砂料やセウキョラチューブを使用)**
- **自治化和火油性的/空草化物の物理的根据的过去式下之数()**
- む中韓会(母の指摘を選に水吐用の切り欠きが有れば不要)
- ☆ 編れポンプ(一般的な)要求仕事ニ 機管様/10/分/ 痛水(を)
- の 浄化療(養生場所よ療性と助走のため食料は光を避ける)
- の 連絡ホーガ/ 死の 連絡材料は子写、大月が好い、曲げを含むくする):



Dit



图2



(F)3

特 許 報

・権利存続期間: 16年8ヶ月(平37.9.16)

・実施段階:実施有り

・技術導入時の技術指導の有無:応相談

・ノウハウ提供:応相談

・ライセンス制約条件:許諾のみ

出願番号:特願2005-303644

出願日/平17.9.16

公開番号:特開2007-085320

公開日/平19.4.5

特許番号:特許3985238

登録日/平19.7.20

特許流通データベース情報

・タイトル:自然を活かす虹吸管

・ライセンス番号:L2008004401 http://www.ryutu.inpit.go.jp/db/

からご覧になれます。

考 情 報

・特許流通アドバイザーによる推薦

・関連特許:なし

• IPC: F04F 10/00

皆様からのお問合せを、お待ちしています。

この特許の問合せ先

寉岡 正夫

〒288-0817 千葉県銚子市清川町2 - 1112

TEL:0479-22-3259 FAX:0479-22-3259 E-mail:tatehoko-jp@w9.dion.ne.jp

もしくはお近くの特許流通アドバイザー (P119をご覧下さい)にご連絡下さい。



雷尔. 雷子





















化学· 薬品



金属 材料



材料













